

高速化技術の展開と波及効果

■ 動力方式の違い

「動力集中方式」(欧州型:機関車タイプ、TGVなど)



(対抗)



省エネルギー、効率輸送など

「動力分散方式」(日本型:電車タイプ、新幹線など)

■ 軌間・電力・信号など

- 標準軌(1435mm)の採用(欧州では在来線への乗り入れ可能)
- 電気方式・信号方式に対応可能な国際高速列車の開発

■ 競争力を発揮する距離帯

300~500km帯(3時間以内)



300km/h以上の高速化、快適性の向上など

600~800km帯(4時間以内)

西ヨーロッパの高速鉄道網

